

加須逆転勝ち

狭山、上尾Aも快勝

【北関東支部夏季大会】リトルニア関東連盟北関東支部夏季大会は16日、狭山シニアグラウンドなどで2回戦の計18試合が行われた。浦和Aがグールド杯覇者

の春日部に22-2で大勝。熊谷は山口の好投で所沢中央を6-0で下した。加須は五回に戸ヶ崎の2点適時二塁打で越谷に逆転勝ち。狭山は3回までに11安打を放ち、太田市に11-1で快勝した。

富士見は若月の本塁打などで浦和Bにグールド勝ち。昨年準優勝の上尾Aが川越を8-1で下すなど、所沢南、日高、大宮A、戸田、行田、宇都宮、栃木下野が3回戦へ進んだ。



須ヶ谷 4回表加須無死一、三塁、捕手の返球が間に三塁走者の上岡が生還。捕手関根

1で快勝した。浦和Aは3回までに11安打を放ち、太田市に11-1で快勝した。

浦和A 0010000
0230000x4 2

所沢南 高橋 井口
(所) 岩間 三玉 松尾 菊池 草薺

3年生、後進の刺激に

「下級生の刺激になるよ。会たから」ではなく「3年生だから」その戦い方を下に見せる」と考えている。加須の網野監督は、越谷に逆転勝ちした3年生の選手たちに頷を緩めた。

1点を追った五回一死一、二塁で戸ヶ崎輝が「初回のミスを取り消したかった」と左越えに2点適時二塁打を放ち逆転。六回には荒井魁斗の右前タイムリーなどで4点を追加した。

「(二)まで2試合、3年生のみを起用している網野監督だが、それは「最後の大会」まで。



太田市―狭山 1回表狭山1死三塁、菅原が中越えに適時三塁打を放つ

▽三塁打 川島 高橋 小川 佐草 正田 大目方 (所) 浦和A

7 13 20
1 0 0 1 2 22

春日部

浦和A (四回コールド)
浦和A 000200
010134x9 2

日高 (六回コールド)
日高 000200
010134x9 2

打線好調、序盤で決着

4回で11安打を浴びさせた狭山が太田市に圧勝した。序盤で勝負は決まった。一回、1死三塁で影山敦夫が左中間に先制適時二塁打を放つと、そこから3本の三塁打を固め4得点。勢いは止まらず二回には中野臣哉から3連続適時打で打者一巡の猛攻を見せた。

投げては先発の三金颯が2安打1失点。四球が目立っていたが、「調子はいいい。低めに集まっているので大丈夫です」と気に留めなかった。この日指揮を執った須田裕樹コーチも「このままいけばいいでしょう」。昨夏準優勝の上尾戦を前に、気負いはない。

狭山 (三金 菅原)
010000
0100111

加須 (加) 浦田 菊池 上岡
0010240
30000000 3 8

2度目先発は「満点」

上尾Aが川越打線を一点に抑えてコールド勝ち。満口勝久監督が「満点とした好投を見たのは、エースではなかった。先発の篠原泰斗は4回を1安打無失点に抑えた。ほとんどが直球。つなげる球が手元で伸び上がり、次々と空振りを取った。



上尾A 満口勝久監督

真海の中前適時打と山崎単人の機転などで3点を追加し、突き放した。たどるとも納得する(とは)にコートとして格闘するた「め日本選手権には監督不在」と主将の込めを語った。